

沖縄高専 だより

Okinawa National College of Technology

第3号

国立沖縄工業高等専門学校

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL 0980-55-4003(代表)

FAX 0980-55-4012

H P <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>



平成19年度入学式の様子



◆◆◆ 沖縄高専だより第3号目次 ◆◆◆

- | | | | |
|-----------------|----|-------------------------|----|
| ・目次 | 1 | ・学生寮事務室より | 17 |
| ・校長あいさつ | 2 | ・地域共同テクノセンター長あいさつ | 18 |
| ・事務部長あいさつ | 3 | ・図書館長あいさつ | 18 |
| ・主事あいさつ | 4 | ・学生相談室長あいさつ | 19 |
| ・学科長あいさつ | 6 | ・後援会会長あいさつ | 19 |
| ・学生会だより | 11 | ・平成19年度（後期）行事予定表 | 20 |
| ・寮生会だより | 14 | | |



校長あいさつ

—入学式告辞—

校長 糸村 昌祐

Girls and boys, Be ambitious!

本日ここに名護市長島袋吉和様、辺野古区長大城康昌様、沖縄工業高等専門学校産学連携協力会会長島袋周仁様、沖縄工業高等専門学校後援会会長中之蘭昭一様をはじめ、ご来賓、保護者の皆さまのご臨席のもとに、沖縄工業高等専門学校の平成19年度入学式を挙行できますことは、私ども教職員及び在校生にとりましてまことに大きな喜びであります。

本日の入学式に出席された166名の新入生の皆さん、入学おめでとう！そして、今日の日を待ち望んで居られたご家族の皆さまにも心からお祝いを申し上げます。

新入生の皆さんは、本日から沖縄高専の第4期生として新しい生活を始めることになりました。皆さんは今後5年間、本校で学び、卒業後工業技術者として、あるいはさらに、大学3年次編入や専攻科への進学を志し、大きな希望と決意を持って、この入学式に出席していると思います。そこで、これからの学習の心構えに関連して少し述べさせていただきます。

沖縄県の振興において、実践的技術者育成機関の果たす役割は極めて大きく、かねてより沖縄県をはじめ地元産業界から国立高等専門学校の設置について強い要請がありました。その結果、55番目の国立高等専門学校として沖縄高専が誕生しました。平成16年4月に入学した1期生は、平成21年3月に卒業します。彼等の卒業を県内産業界が心待ちにしており、期待が非常に大きいことを常々感じています。新しい知識を吸収し、技術を身につけていく若者は、いつの時代においても、地域ひいては社会全体の開拓者として期待されるのです。

話は代わりますが、今から140年前、徳川幕府が大政奉還して明治政府に代わった日本は、経済的・軍事的に諸外国に追いつくため、種々の新しい政策を打ち出します。その一つに北海道開拓がありました。手元に、平成13年に発行された「北大の125年」という小冊子があります。沖縄高専が沖縄県北部地域の振興並びに沖縄県産業界の発展に貢献しうる実践的技術者を育成する高等教育機関として創設されたように、明治新政府は北海道開拓に必要な人材を育成しようと計画し、明治9年(1876年)に札幌農学校を開校しました。この学校が北海道大学の前身であります。

明治政府は寒冷地である北海道における食糧自給を実現するには農業を盛んにするのが急務と考え、農学校を誕生させたのです。教員をアメリカから採用することになり、当時アメリカに3校しかなかった農科大学の内、マサチューセッツ農科大学の学長であった50歳のウィリアム・スミス・クラーク博士を教頭に任命し、彼と教え子2名の計3名が来日しました。彼等はすべての授業を英語で行い、年長で21歳、ほとんどが17、18歳の学生も又、通訳無しで教師の口述を筆記し、清書してノートを作成しました。農学校に入学する前段階で、英語やその他の基礎科目を勉強していたとは言え、彼等の努力と英語の力はクラーク博士も感心したほどでした。

クラーク博士は8ヶ月半教頭を務めた後、アメリカの大学に戻るようになります。別れの日、教職員や学生は思い思いに馬に乗り、馬を連ねて学校から24kmの道のりを見送ります。いよいよ別れの時に、"Boys, be ambitious"("青年よ、大志を懷け":北大の公式な訳)と叫びます。この言葉は、見送った1期生の一人が当時を回想した文章の中で紹介され、札幌農学校のモットーとなり、定着し、明治中期以後の日本の青春の一つのスローガンとなって広がっていきます。一説には、be ambitious に続く言葉として、「それは金銭に対してでも、自己の利益に対してでもなく、また世の人間が名声と呼ぶあのむなしなものに対してでもない。人間が人間として備えていなければならぬ、あらゆる事を成し遂げるために大志を懷け」と言ったとされています。クラーク博士自身は、札幌農学校での教育も含めて一冊も書物を執筆していないため、後に続く言葉の真偽のほどは不明です。

いづれにしても、北海道開拓のための人材育成機関として創られた札幌農学校でしたが、クラーク博士の弟子達は、彼の志を継いで今日の北海道大学の礎を築くとともに、日本全国に広がり、広い分野で活躍しながら近代日本を指導する役割を果たしていきました。

本日、沖縄高専に入学された皆さんには、世界に羽ばたく大志を持ち、本校で学ぶこれからの5年間、自分で考え、判断し、自ら学ぶ積極的な学生として、日々の生活を過ごしていただくことを強く希望します。

Girls and boys, Be ambitious! の一句を贈り告辞といたします。



事務部長あいさつ

事務部長 与那覇 明弘

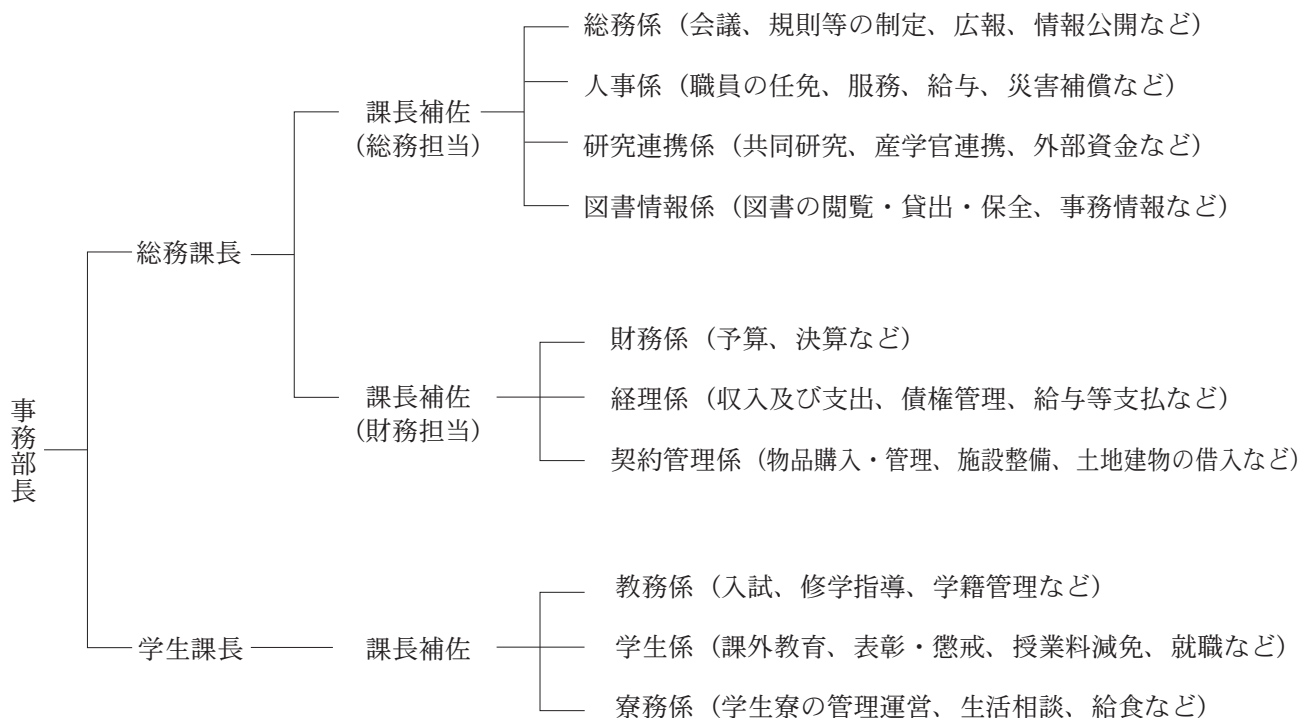
第1期生は4年生となり、インターンシップや卒業後の進路等についていよいよ真剣に取り組まなくてはならない時期にきています。1期生の進路については、内外から大きな期待と注目を集めているところであり、事務部としましても最善を尽くして支援していく所存です。

さて、事務部では、よりスムーズな学生支援、教育・研究支援等を行うため組織の見直しを行い、本年4月から3課体制（庶務課、会計課、学生課）を2課体制（総務課、学生課）とし、新たに課長補佐を総務課に2名（総務担当、財務担当）、学生課に1名配置しました。

また、これまで学生寮に関する業務は学生系の業務の一部として行っていましたが、「寮務係」を新設し、係長を配置（増員）することにより強化しました。

新設ポストのための増員はもちろんありませんので、他の係についても業務の見直し等を行い、また、一部の係については、業務内容に沿った名称に変更しました。

新しい事務組織及び各係の主な業務内容は次のとおりです。



事務部は、以上の組織で5年一貫教育により高度な実践的かつ創造的技術者を育成するための支援を総力を上げて行いたいと思います。



総務主事あいさつ

副校長(総務主事) 真鍋 幸男

総務主事は本校の組織編制、将来計画及び自己点検・評価に関する事項を担当しています。保護者や学生の皆様に関連する事項としては沖縄高専の中期計画立案見直しのほか、専攻科設置、JABEE受審、自己点検・評価など、本校の将来計画に関わる事項を進めています。

1. **中期計画に関する事項**：経済産業省から受託している社会人教育のための大型教育事業(2件)の実施に伴い、中期計画を1年前倒し平成19年度には地域共同テクノセンターを設置し、沖縄高専紀要の第1号を発刊しました。これによりまた本校教員の研究論文や研究業績を広く公表するとともに、産学連携や地場産業支援を一層加速する体制が整いました。
2. **専攻科に関する事項**：高度な専門知識と研究能力の育成を行う専攻科を1期生の卒業にあわせて平成21年4月に設置予定としており、今年度末を目標に専攻科カリキュラム等の骨子を専攻科設置検討委員会でまとめる予定としています。
3. **JABEE受審に関する事項**：本校では平成23年度にJABEEを受審予定としており、4年次以上の学生はJABEE受審プログラムに沿った教育を受けることを公表しました。JABEE認定校の卒業生は国際社会から要求される高等教育機関卒業生の技術・知識水準を備えていると認められます。
4. **自己点検・評価に関する事項**：平成16、17年度の本校の教育研究、学生支援、施設設備、管理運営の現状と改善点についてまとめた第1回自己点検書を完成しました。本自己点検書は社会に広く公開するとともに、地域の有識者の外部評価も受け、より良い教育研究を目指しています。



教務主事あいさつ

副校長(教務主事) 高木 茂

1期生が4年生となり、いよいよ、インターンシップ、就職、進学など重要なことがせまってきました。インターンシップについては、学生156人に対し、5月末の時点で県内外約120社から約300人の受け入れ申し込みがあります。学生とのマッチングをとり、8月末から9月にかけて実習を行って、その成果を互いに報告しあいます。

就職については、景気が比較的良好なことや、2007年問題(団塊の世代が定年を迎え、技術者の不足が深刻になると予想されている)で、企業の求人意欲が高まっています。このため求人倍率が20倍、30倍になっている高専もあります。進学では、国立大学への3年次編入において、希望者の80%が受かっています。

沖縄高専の授業レベルも他高専に引けをとらない水準で設定しており、また、ロボコン、プログラミングコンテスト等で、他高専と互角に渡り合える力を備えていることも明らかになってきています。

高専に対する求人倍率が高いことや、大学への編入学実績がよいのは、それだけ、高専の技術教育レベルが高く、かつ、それをキチンと維持していることの証しです。各授業科目の成績は60点以上が合格ラインです。しかし、1年次より、全科目の評価点が80点以上になることを目標に努力して下さい。そうすれば、自分の進みたい道が開けます。

高専の5年間は、子供から大人への移行期間です。その脱皮の時期・度合いには個人差が出てきます。常に前向きに、自分が何に向いているか、模索しているうちに見えてきます。学生、学校、家庭が協力して明るい未来に向かって前進しましょう。



学生主事あいさつ

学生主事 新 川 智 清

学生委員会は、学内外において学生が有意義な学生生活を過ごせるように、学生・教職員の協力を得て日常の生活指導や部・同好会を含む課外活動、学生会の諸活動など多くの事項を担当します。

4月に4期生を迎え部・同好会活動もさらに活発になり、その設置数も毎年増えています。高体連に正式加盟し2年目の参加となる高校総体において、他校に比べて練習時間もかなり制約される中で今年度はほとんどの部が初戦を突破し、昨年にも増す優秀な成績を収めています。本校には体育系以外に12の文化系の部・同好会があり、体育系に比べて対外的な発表の場が少ない中で地道に活動を続けています。部・同好会の活発な活動は、教職員の熱意に負うところが大きく、ほとんどが学生時代に経験のない専門外ながら日頃の練習や対外試合の引率等に熱心に対応していただいています。

学生会は会則が決定し、本校後援会のご理解により緒活動の裏付けとなる学生会費を得て、高専祭や体育祭等の学生会行事の企画運営のみならず長期休業中の部・同好会等の合宿を体育部局担当とするなど、学生主体の自治活動を活発に行っています。今後は学内の生活環境の整備や沖縄高専の学生としての日常的なマナーなど、学生生活を過ごす上での身近な問題を学生自らの問題として取り上げ解決することを期待したいと思います。

新入生を迎え、学生数が653人となり、学生委員会が対応すべき事項も多岐にわたっています。寮外生が100人を超え、自宅や近隣のアパートから通学しています。自宅通学生のほとんどが車両通学し、通学時間に1時間以上要する通学生もいます。今年度後期、来学年度と車両通学する学生がさらに増加し、交通安全の指導徹底が学生委員会が直面している大きな課題の一つです。



寮務主事あいさつ

寮務主事 濱 田 泰 輔

学生寮の行事は4月7日（土）に執り行われました入学式とそれに引き続く入寮式で166名の新入生の入寮から始まりました。午後からの開寮により在寮生も入寮し翌8日（日）の夕方には開寮式および新入寮生と在寮生の対面式を行い、全寮生が一堂に会しました。1年生166名、2年生168名、3年生128名、4年生84名の全546名の在所帯で学生寮はほとんど満室の状態での始まりとなりました。

新入生の皆さんは、高専に入学して授業、実習やセミナー等、初めての体験、その上、寮生活という共同生活に入学当初は戸惑いも多々あったことと思います。寮の生活は寮生会役員をはじめ、寮生全員でより良い学生寮になるよう工夫や改善をしていかなければなりませんので出来る限り新入生の皆さんも進んで学生寮の運営に参加してもらいたいと思います。

在寮生の皆さんにとって今年度は一学年増えて1年から4年までの4学年のみなんで生活していきます。多学年で生活するうえで、それぞれの学年の寮生はどういう寮生活をすべきか、一人ひとりが考えながら生活してほしいと思います。また、高学年になるにつれて、寮日課を始め、寮生活に不便さを感じることも増えてくるかもしれません。学校の授業、研究、各自の学習に支障をきたすことが無いよう配慮することを検討すべきと考えていますので、寮生の皆さんも意見、提案等寄せてもらいたいと思います。

最後に、寮生活は生活の場、通学の利便のためだけのものではありません。自己管理を基に他寮生の生活のことも配慮した共同生活により友情を育み、一生涯の友人と呼べる友達を見つけてください。

機械システム工学科

機械システム工学科長

宮田 恵 守

機械システム工学科は、実践的技術者育成を目指した教育を実施しています。学年が4年生まで進行し、専門教育科目も充実してきました。インターンシップも始まり、進路についてより具体的に考えるようになってきました。新1年生40名を迎え、総勢161名の学生の教育に、新任教員3名を加えた、教員12名、技術職員5名の体制で臨んでいます。教員は大学等の出身者8名、企業出身者4名でバランス良く構成されており、実践的な教育を行っています。今年度着任した新任教員3名の簡単な紹介をします。

山城教授：九州大学から着任しました。熱流体工学が専門で、熱工学、流体工学、工学実験（熱工学）等を担当しています。

武村准教授：国際レスキューシステム研究機構から着任しました。ロボット工学、制御工学が専門で、メカトロニクス、制御工学、計測工学を担当しています。

政木准教授：電気通信大学から着任しました。材料の強度評価、破面解析が専門で、材料科学、材料加工システム、工学実験（応力計測）等を担当しています。

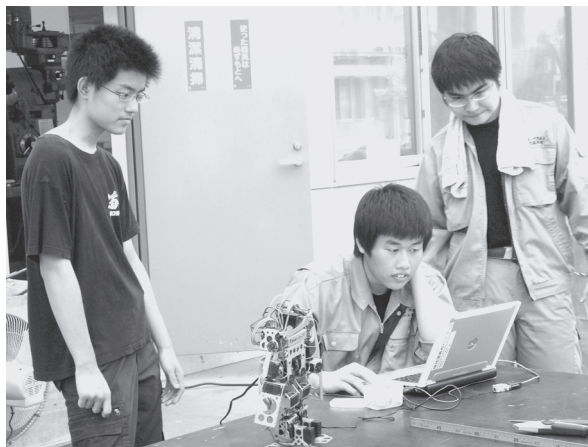
平成20年度にはさらに2名の新任教員が加わり14名の体制となります。卒業研究等も始まり、教育プログラムが完成します。教職員一丸となって努力していきますので、ご支援よろしくお願い致します。

教員氏名	専門分野	担当科目
山城 光 (やましろ ひかる)	熱流体工学	熱工学、流体工学、 工学実験（熱工学）
武村 史朗 (たけむら ふみあき)	ロボット工学 制御工学	メカトロニクス、制御工学、 計測工学
政木 清孝 (まさき きよたか)	材料の強度評価 破面解析	材料科学、材料加工システム、 工学実験（応力計測）

※平成19年度の機械システム工学科の新任教員



▲創造演習（2年生）の授業風景



▲平成19年度サマースクールの様子

情報通信システム工学科

情報通信システム工学科長

石 田 修 己

情報通信システム工学科は、コンピュータでものを制御するためのプログラムから、音声・画像を含む情報を伝えるための通信、これらの機能を実現するための集積回路やシステムまで、幅広い技術をものにふれながら学ぶ授業を実施しています。学生は、開学以来最初の4年生40名、3年生41名、2年生43名に新生42名を迎え、126名になりました。日々の勉学に励むだけでなく、ロボコンチームへの参加、情報オリンピックAランク受賞、日本学生科学賞ソリューション部門1等賞受賞など、全国レベルの活躍をしています。教員は、学生の進級に合わせて増強されており、今年は新任2名が加わり、9名の体制になりました。新任の兼城千波准教授は、東京都立大学大学院の電気工学専攻修了後、北海道大学、神奈川工科大学での研究・教育職を経て、本学に着任しています。また、山田親稔助教は、琉球大学大学院の理工学研究科修了後、拓殖大学北海道短期大学で3年間の教育・研究経験を積んで着任しています。企業経験のある教員と教職経験のある教員が協力して、社会で活躍できる技術者の育成に努めています。また、それぞれの専門技術で地域産業にも協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

教員氏名	専門分野	担当科目
高木 茂	プログラミング、マルチメディア処理	プログラミングⅡ・Ⅲ、ソフトウェア工学、ソフトウェア開発実習、創造演習、IT応用（生物）
鈴木 龍司	計算機工学、ヒューマンインタフェース技術	計算機工学Ⅰ・Ⅱ、沖縄高専セミナー、IT応用、創造演習、コンピュータアーキテクチャ、情報通信工学実験（1、2年）
知念 幸勇	光通信、無線、化合物半導体、高周波回路	電気回路Ⅰ・Ⅱ、電磁気学、電子回路と集積回路Ⅰ～Ⅲ、産業創造セミナー、創造演習、半導体工学、技者倫理
石田 修己	高周波回路、アンテナ、電磁干渉、無線通信	通信工学Ⅰ・Ⅱ、電波電送学、産業創造セミナー、創造演習、通信法規、情報通信工学実験（3、4年）
野口 健太郎	デジタル信号処理、計測工学、教育工学	信号処理、情報理論、マルチメディア処理、離散数学、ネットワークとセキュリティ、情報通信工学実験（2、3年）
神里 志穂子	感性工学、運動計測、データ解析	プログラミングⅠ・Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造、人工知能、オペレーティングシステム、データベース、コンパイラ、情報通信工学実験（2、3年）
兼城 千波	半導体工学	電子回路と集積回路Ⅱ・Ⅲ、半導体工学、集積回路工学、CAD技術、情報通信工学実験（3年）
野崎 真也	デジタル画像処理、計測工学、人工知能	沖縄高専セミナー、情報通信工学実験（1、2、4年）、制御工学、数学演習
山田 親稔	ハードウェアの高位設計とその検証	組込みシステム、コンピュータアーキテクチャ、計算機工学Ⅰ・Ⅱ、情報通信工学実験（1、2、4年）、数学演習

メディア情報工学科

メディア情報工学科長

水 野 正 志

メディア情報工学科は、その名前が示すように全国高専でもまったく新しい分野の学科として誕生しました。基本的にコンピュータを利用した技術を習得する学科であり、ソフトウェアに関する科目が目白押しになっております。コンピュータを使ってメディアコンテンツ、ネットワークシステム、コンピュータシステムなどデジタル情報を加工したり、分析したり、コンピュータに関心のある学生には興味深い学科です。コンピュータ技術という難しい科目が一杯と考えるでしょうが、1年生の時に情報技術の基礎でコンピュータ、情報についての基本的な知識を学習します。その上に立って、コンピュータ、ネットワーク、メディアコンテンツといった3分野の科目を習得していきます。コンピュータ関連のいろいろなコンテストにも積極的に参加しており、昨年も今年もプログラミング・コンテストでは全国大会に進出し、好成績を収めています。教員の構成は10名です。来年度にはもう1名の着任を予定しています。今年は外国の方で、タイ出身のタンスリヤボン・スリヨン講師、中央アフリカ出身のバイティガ・ザカリ助教と民間企業出身の姉崎教授が新たに着任しました。それぞれ、研究経験豊富な方々です。メディア情報工学の優秀な技術者を育成する沖縄の中核となるべく全教員が協力していきます。沖縄の地域との連携も深めていく所存です。よろしくお願い致します。

教員氏名	専門分野	担当科目	前歴
姉崎 隆	ロボット工学	デジタル回路、 メディア情報工学実験Ⅲ	松下電器産業株式会社
TANSURIYAVONG Suriyon	画像情報処理、画像圧縮、 プライバシーコンシャス通信、 ビデオセンシング	IT応用、情報理論	長岡技術科学大学
MBAITIGA Zacharie	制御工学、画像処理、 ネットワークコミュニケーション	情報技術の基礎、応用線形代数、 離散数学	大川金型設計事務所

※平成19年度のメディア情報工学科の新任教員



▲第18回全国高等専門学校プログラミング
コンテスト特別賞受賞



▲スタジオの様子

生物資源工学科

生物資源工学科長

山城秀之

現代社会は、食糧やエネルギーの不足、地球規模の環境問題、食や医療の安全性、人口減少と高齢化など多くの問題を抱えています。これらの問題を解決するための一つの方向性として、生物資源の有効活用や生物の持つ無限の可能性を発揮させ人類に役立てる新しい技術の開発が望まれています。

生物資源工学科では、多様な亜熱帯性動植物の持つ有用生物資源を活用し、微生物、酵素、細胞を用いた有用物質生産などのバイオテクノロジー技術を学び、食品の創造的な開発や実践的な製造・管理技術を習得し、さらには、環境を考えた廃棄物処理や資源再利用に携われる人材の育成を進めています。

高度な技術や知識の習得だけではなく、人間性、協調性、国際性、創造性に溢れ、産業界や公的機関の成長を中心となって支える人材作りにも力を注いでいます。

すなわち、生物資源工学科では、生命科学や生物資源工学に通じ、食糧、エネルギー、環境、健康問題などに取り組み、創造的に解決することができる人材の輩出を目指しています。

平成19年度には3名の新任教員（三宮、平良、工藤）を加え、学生への教育体制が更に充実してきました。学生、教職員、全員で更に前へ進みます、よろしくお願いします。



▲授業風景：温室内植物の観察



▲授業風景：酸とアルカリ実験

総合科学科

総合科学科長

小池 寿俊

沖縄高専の授業は、一般科目と専門科目に大別されます。一般科目はさらに、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目には国語・英語・社会科学・数学・自然科学・健康科学の6分野が、選択科目には英語以外の外国語や芸術関係等多彩な科目が用意されています。学生は、一般科目を受講することによって、専門学科での研究において求められる基礎力と、健全な社会人になるために必要な知識・教養を身に付けていくことになります。これらの一般科目を主に担当するのが総合科学科の教員です。本年度から、国語担当の滝雅士、英語担当の名嘉山リサの2名がスタッフとして加わりました。それぞれ授業紹介を兼ねた現在の心境を簡単に語っていただきます。

○三浦 敬：高専間教員交流制度により山口県の宇部高専より参りました。一年間限定ですがよろしくお願いします。専門は数学(代数幾何学)です。数学の基本は頭を使って「考える」ことです。より良い人生を送るためにも「考える」習慣を身に付けましょう。

○滝 雅士：私の専門は中古文学で、本校では国語Ⅰ、国語Ⅱを担当します。所謂、文系の学問ですが、高専という理系かつ専門性の高い学校であるからこそ、学生諸君にはそこから多くのことを学び取ってもらいたいと願っています。

○名嘉山リサ：日本語を介せずに英語の本を読み、聴き、映画を観ることでかなりの英語力がつきます。楽しみながら英語を学び、コミュニケーション能力を高め、将来活躍の場が広がるようお手伝いしたいと思います。

なお、1期生受け入れ1年前の平成15年4月のご着任以降、教育・研究に尽力され、教務主事を務めるなど学校の運営面でも多大な貢献をされた総合科学科教授の望月先生が、平成19年10月に沖縄国際大学に転出されました。この高専だよりの文章も9月まで学科長を務められた望月先生の文章に小池が加筆したものです。この場をお借りして感謝の意を表したいと思います。



▲国語Ⅰの授業風景



▲実用英語(TOEIC)の授業風景

学生会だより

今年度の学生会は、学生会則の施行により機関編成が整えられ、いよいよ本格的な運営が開始されました。これからそれぞれの機関が連携し合い、より良い沖縄高専を創りあげていきますので、どうぞご支援くださいますようお願いいたします。

平成19年度 執行委員会

局	役 職	名 前	学年	学 科
	学 生 会 長	久保田 浩 幸	3 年	情報通信システム工学科
	学 生 会 副 長	安 里 哲	2 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
		作 田 隆 真	4 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
総務局	総 務 局 長	金 城 洋 之	3 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
	総 務 係	比 嘉 翔 弥	3 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
		嶺 井 祐 輝	1 年	情報通信システム工学科
		砂 川 大 輝 (庶務係を兼務)	3 年	生 物 資 源 工 学 科
		上 原 龍 生	3 年	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科
	庶 務 係	仲 松 里 夏	3 年	情報通信システム工学科
会計局	会 計 局 長	山 川 太 一	3 年	情報通信システム工学科
	会 計 係	阿 嘉 倫 大	3 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
		清 水 正 義	2 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
	物 品 係	上 原 一	3 年	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
広報局	広 報 局 長	安 里 梓	4 年	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科
	広 報 係	座間味 愛 乃	2 年	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科
		白 崎 史 子	2 年	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科
		波照間 さやか	2 年	生 物 資 源 工 学 科
		仲宗根 翔 子	1 年	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科
	渉 外 係	普天間 直 子	3 年	生 物 資 源 工 学 科

委員会・議会紹介

委員会名・議会名	説 明
学生会議会	本科学生会員より選出された200名の議員により構成され、学生会の最高議決機関として、会則及び細則に関する事、予算に関する事、事業計画の承認及び会務報告に関する事などの学生会に関する重要事項を審議します。
執行委員会	本科学生会員より選出された執行委員により構成され、学生会の最高執行機関として、学生会議会の議決事項に基づき、学生会活動の立案と執行にあたります。
部 会	各部・同好会の代表者により構成され、部及び同好会の円滑な運営のため、各部・同好会の連絡調整に関する事や、活動状況の把握に関する事、活動場所の管理・美化に関する事、部活動費の予算作成と決算報告に関する事、部・同好会の新設及び廃止などに関する事を行います。
高専祭実行委員会	本科学生会員より選出された委員により組織され、高専祭の円滑かつ有意義な運営のため、高専祭の予算の作成及び高専祭運営費の金額の決定に関する事や、高専祭の企画・準備・運営に関する事、高専祭の決算及び会計監査に必要な書類の整備に関する事を行います。
ロボット製作委員会 及び プログラム製作委員会	本科学生会員及び専攻科学生会員より選出された委員により構成され、ロボット製作委員会は「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」を中心とした、ロボット製作に関する活動を行い、プログラム製作委員会は「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」を中心とした、プログラム製作に関する活動を行います。
図書委員会	本科学生会員より選出された20名の委員により構成され、図書館業務の補助を行います。
監査委員会	本科学生会員より選出される委員8名により構成され、学生会活動が公正に行われるよう、執行機関に関しては、学生会の会計や、行事等の学生会活動が会則及び細則に基づき公正に執行されているかの監査(会計監査・執行監査)や、部活動に関する監査(部活動監査)を行います。また、議決機関に関しては、議決された細則が会則に反することなく適合しているかの監査や、議決された事案が会則及び細則に基づいているかの監査を行います。
選挙管理委員会	本科学生会員より選出された20名の委員により構成され、選挙及び投票が公正に執行されるよう、選挙又は投票の日時及び場所、立候補者の公示や立会演説会に関する事、選挙運動についての必要事項の決定、投票方法の決定及び投票事務、開票事務及び結果の報告、公正な選挙及び投票の管理などの、選挙及び投票に関する一切の事を行います。

学生会活動の紹介

今年度前期に行った学生会活動の一部を紹介します。

○平成19年度第1回 学生会議会

平成19年5月16日（水）メディア棟視聴覚ホールにて、平成19年度第1回学生会議会が行われました。昨年度までは、全会員で審議を行う学生総会の形をとっていましたが、本年度より初めて各クラスより選出された議員によって行われる学生議会に変わりました。

高等専門学校学生会での議会制の採用は、全国でも数少ない試みです。

議会では、参加した133名の議員により、「平成19年度学生会執行委員会」「学生会会則及び細則の改正案」「平成19年度予算案」の3つについて審議が行われ、自分達の力でより良い沖縄高専を創りあげていこう、という熱意が感じられました。

○第34回 辺野古区民運動会

平成19年5月13日（日）辺野古区民運動公園にて第34回辺野古区民運動会が行われました。本校では、地域交流を目的に毎年参加しており、今年で4回目の出場となります。

今年も清々しいほどの晴天で、まさに運動会日和となりました。

種目はリレーや短距離走のほかにも、ジュースの一气飲みなどユニークなものが多く、参加する人も応援する人もとても楽しむことが出来ました。



▲平成19年度第1回学生会議会の様子



▲第34回 辺野古区民運動会の様子

部活動の紹介

本年度は、同好会の数が大幅に増え、ますます部活動に活気が出ました。

これからもよりよい成果を残せるようがんばりたいと思いますので、どうぞ応援の程をよろしくお願いします。

体育局 ～体育会系の部活・同好会です～	
- 男子バスケットボール部 - 女子バスケットボール部 - 男子バレーボール部 - 男子テニス部 - 女子テニス部 - バドミントン部 - ソフトテニス同好会 - サッカー部 - 硬式野球部 - 水泳部 - 卓球部	- ダンス部 - 弓道部 - ハンドボール部 - 柔道同好会 - アメリカンフットボール同好会 - 女子バレーボール同好会 - 剣道同好会 - フットサル同好会 - 陸上競技同好会

文化局 ～文化系の部活・同好会です～	
- 文芸部 - 総合美術部 - 軽音楽部 - 吹奏楽部 - 合唱同好会 - C G 同好会	- サイエンス同好会 - ジャズ同好会 - ビジネス研究同好会 - 映画研究同好会 - 航空・宇宙同好会 - エンターテイメント同好会

寮生会だより

寮長あいさつ

寮長 宮城央子

寮長の宮城央子です。さて、開校当初はたった一学年、160人前後だった寮生も現在では520人を超え、多学年、様々な学生が一つ屋根の下で共同生活を行っています。

楽しい寮生活なのですが、これだけの大人数が一緒に生活するとなると、生活習慣や考え方などの違いから、やはり問題は絶えません。そんな寮生から上がってくる問題や些細ないざこざも、それに対しての話し合いや議論、その後の仲直りも寮生活ならではの経験だ。「これから社会に出て行く上でのいい経験だ。」と考えるもよし、熱い議論を楽しむもよし。沖縄高専学生寮では、これら様々な経験を通して最低二年間、協調性と自立心を学び、問題を自分たちで解決するという術を磨きます。

そんな寮生活をまとめるのは、寮生会執行部と各委員長で構成されている寮生会役員会です。以下の表は今年度の学生寮の運営を行う主要メンバーとなっています。よりよい寮を作るべく、日々話し合い、奮闘しています。後期が始まって一週間、まだまだ至らない点はあると思いますが、寮生全員で協力し合い、寮生活を楽しめるような寮を目指し日々がんばっていききたいと思いますので、皆さん、応援よろしくお願いします。

平成19年度寮生会役員(後期)

役 職	名 前	学 科	学年
寮 長	宮 城 央 子	生 物 資 源 工 学 科	4
男子副寮長	長 田 旭 史	情報通信システム工学科	3
女子副寮長	安佐伊 美 夏	生 物 資 源 工 学 科	3
書 記	我喜屋 沙保莉	生 物 資 源 工 学 科	3
会 計	赤 嶺 一 馬	情報通信システム工学科	3
	東比嘉 仁 弥	情報通信システム工学科	3
指導寮生長	遠 藤 隆 将	メディア情報工学科	3
	真嘉比 愛	情報通信システム工学科	3
生活委員長	久保田 浩 幸	情報通信システム工学科	3
	三ヶ森 晴 香	情報通信システム工学科	3
環境美化委員長	屋比久 寿 弥	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	3
	平 良 理 美	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	2
防災安全委員長	森 幸 寛	情報通信システム工学科	3
	宮 城 由 子	情報通信システム工学科	3
保健衛生委員長	上 原 一	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	3
	八 幡 美 希	メディア情報工学科	3
企画広報委員長	砂 川 大 輝	生 物 資 源 工 学 科	3
	城 間 ひかる	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	2

寮生会活動紹介・報告

寮では一年を通して様々なイベントや取り組みが行われています。これらの中で基本的に寮生会が主体となって企画・運営し開催されるものがあります。寮生が楽しく、安全に暮らせるように寮生会を中心としてみんなで各活動に取り組みます。さらに、学生寮行事である「防火避難訓練」や「オープンキャンパスの寮見学」などにも寮生が積極的に参加して、寮運営の一翼を担っています。

●寮祭

学生寮では、寮生会企画広報委員会を中心に、毎年夏と冬の二回、体育館アリーナにて寮祭を開催しています。企画広報委員の一番の大仕事ともいえる寮祭は、準備の段階から気合の入れ方が違います。今までに寮祭で行われてきた演目には、バンド演奏、カラオケ、クイズ大会、ダンス、パフォーマンス、コント、合唱などがあり、それぞれの持ち味をいかした出し物となっています。先生方もびっくりの、寮生たちの意外な一面を見ることのできる楽しいイベントです。夏の寮祭はもう終わってしまいましたが、今年の冬の寮祭は12月20日（木）に開催予定です。

●オープンキャンパス寮内見学ツアー 案内ボランティア

毎年学校主催で行われるオープンキャンパスにあわせて、学生寮では「寮内見学ツアー」を開催しています。いつもは親も入ることができない寮の中も、この日だけは「寮内見学ツアー」の旗を持った寮生の先導の下、堂々と入ることができます。沖縄高専への入学を考えておられる中学生・保護者の方々にとって、沖縄高専生が必ず体験する寮生活の様子を間近で見ることのできる非常によい機会となっています。

●寮生総会

寮生総会は、前期と後期に一度ずつ計年に二回体育館アリーナで行われる寮生会役員会の一番の大仕事です。総会では、寮生会則案の承認や予算案の承認など、寮生みんなが参加して行います。総会は、準備は寮生会役員が、当日は議長が進行を勤めるなどして運営し、各案の承認の前には寮生が質問をしたり、意見を言ったりして、みんなで寮を作っていく、という考えの下行われます。また、後期に行われる寮生総会では次年度の寮生会の寮長、男女副寮長の選挙も行われ、寮生活を支える一番重要なイベントとなっています。



▲寮生総会



▲オープンキャンパス寮内紹介

その他寮内での活動

●防火訓練

防火訓練は避難訓練と共に各年度の初めに、防災委員を中心として行われます。今年度は5月9日(水)に行い、寮で緊急事態が発生した際に皆が落ち着いて対処できるよう、あらかじめ避難経路を確認し、放水体験も行いました。

●空き缶回収

学生寮では、アルミ缶のリサイクルを行っています。今年度も学生寮で集めていた空き缶をリサイクルしました。得られた資金は、寄付、寮生会活動にあてられる予定です。空き缶のリサイクルは今後も続けていき、少しでも社会に貢献でき、さらに寮生活がよりよいものにしたいと思っています。

●寮大掃除

学生寮では、毎日掃除を行い、環境美化委員の指導の下ごみの分別を徹底し、地球環境を考慮した生活を行えるよう寮生一人ひとりが自覚を持って生活しています。寮大掃除では、毎日の掃除ではできない細かな部分や寮の回りの清掃など、月に一度放課後を使って寮生全員で清掃を行います。清潔で住みよい学生寮を保つため、寮生みんなで協力し合い清掃を行う、寮の大事な活動のひとつです。

●意見箱設置

新しい試みとして、女子寮・男子寮共に各階に意見箱を設置し、匿名制で誰でも寮生会や寮務主事へ意見・質問が行えるようにしています。意見は定期的に収集し、寮生会・寮務主事による回答が全寮生へ掲示されます。実際、今まで意見箱を利用した寮生からの意見により寮の制度が変わったこともあり、寮生活の向上に大きく貢献しているのではないかと思います。

●部活動合宿施設

さらに学生寮では、普段の寮生の生活の場だけではなく、部活動の合宿のための施設貸し出しも行われています。毎年、夏季休業期、春季休業期には多くの体育系・文化系部活や同好会、ロボット制作委員会、プログラム制作委員会などが学生寮で生活し、それぞれの目標達成・更なる向上を目指して練習、創作活動、研究活動などに意欲的に励んでいます。



◀ 防災訓練

学生寮事務室より

平成19年度は4月7日（土）の入寮式で新入寮生の入寮にはじまり、8日（日）の開寮式でさっそく、新入寮生と在寮生の対面式を行いました。本年度は、寮生も546名の大人数でのスタートとなりました。また、5月9日（水）には防火避難訓練を行い寮生活の安全面について新入生も含め全寮生で確認しました。

今年度も寮生の居室見学を希望される保護者の方に限っての見学会を公開授業週間に合わせて開催いたしました。多くの保護者の皆様のご見学を頂き、各寮生の生活状況をご確認いただけたのではないかと思います。7月4日（水）には寮生会主催による「夏の寮祭」を行い、参加した寮生は夏の夕刻の楽しいひとときを過ごしました。7月8日（日）にはオープンキャンパスが開催され、寮生のボランティアの案内による見学ツアーを行いました。沖縄高専への入学を志している中学生の皆さんをはじめ、多くの見学者がありました。

学生寮では清潔で衛生的かつ健康的な生活を送るため、毎日の清掃は勿論のこと毎月、大掃除を行っています。これも寮生会の皆さんが役割を決め、全寮生で実施しています。廃棄物の分別の徹底はもちろんのこと、清涼飲料水のアルミ缶の分別回収を熱心に行っており、寮生の環境問題への関心が高まっていることは大変喜ばしいことです。また、寮生代表を交えた給食懇談会を毎月行い給食の改善に努めています。

さらに、学生寮では、部活動等への施設貸出も行っています。8月20日から9月29日まで、完全閉寮の期間を除き各種活動の合宿施設として寮施設（居室、浴室、洗濯室、補食室等）を貸出しました。各合宿生は寮で寝泊まりをしながら練習、創作活動、研究活動等それぞれ活発に励んでいました。

以上のように、学生寮では寮生のより良い生活環境作りはもちろん、寮施設の有効な活用をこれからも推し進めてまいります。

なお、後期の寮関係行事については下表のとおりです。

平成19年度後期の寮関連行事予定

期 日	行 事
9月29日（土）	開寮、合宿終了
30日（日）	開寮式
12月20日（木）	寮祭（寮生会主催）
21日（金）	閉寮式
22日（土）	閉寮
1月 5日（土）	開寮
6日（日）	開寮式
2月 6日（水）	寮生総会（寮生会主催）
3月 1日（土）	閉寮式
2日（日）	閉寮



地域共同テクノセンター長あいさつ

地域共同テクノセンター長 松 栄 準 治

高専の最も重要な役割は次世代の技術者育成、特に実践的な人材の育成にありますが、外部機関との共同研究、本校内での教育・研究成果に根ざした地域社会への貢献も重要な役割と位置づけております。本年度から地域社会への貢献をより推進するために、地域連携推進室を地域共同テクノセンターへと変革いたしました。地域共同事業に対して機動的に活動できる組織とし、地域企業と共同で利用できる場所も本年度中には確保する予定となっております。これに伴い窓口も研究連携係と改組致しましたが、電話番号は旧来通りとなっておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。当面は、従来の地域連携推進室の業務を引き続き実施して参りますが、徐々に地域共同事業の活動に力を入れる所存でおります。高専フォーラム(県南部、北部地区)の開催、各種技術展示会への出展、共同研究・開発や技術相談・指導(共同・受託研究、技術指導、分析など)、地域の方々を対象として科学技術の啓蒙活動(公開講座、学校開放事業、出前授業、技術講習会、施設見学会など)なども従来通り推進して参りますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

産業界との連携による共同研究や技術相談等の平成18年度における実績は、共同研究：8件、受託研究：5件、中小企業庁の高専等を活用した人材育成事業および技術相談：3件を数えます。技術相談につきましては、事務部総務課研究連携係を窓口にして、全教職員が対応する体制を整えておりますので、気軽にご用命頂きますようお願い致します。



図書館長あいさつ

図書館長 山 城 光

「これからの図書館に何を望みますか？」皆さんに問いかけ自問自答しながらの執筆であることをご了承いただき、あいさつと代えさせていただきます。

沖縄高専図書館は、本校の教育・研究活動を支援するための重要な施設であり、学生を中心とした本校構成員の「自学の場」として利用されています。現在、延床面積740㎡のフロアーには、30,742冊の専門書、1,458冊の学術誌、813点の視聴覚資料などが配置されており、平成19年5月時点での書架収納率は約50%です。館内には硬いイメージの理工系専門図書ばかりでなく、新聞、単行本、月刊誌等もあり、それらを自由に閲覧できる場所と風光明媚な辺野古湾を一望できる空間は、昼休みのひと時を過ごせる言わば知的リラクゼーション施設(癒しの空間)としても機能しています。

今年5月からは新たなサービスも加わり、デジタル映像機器の貸出しと有料ではありますがカラーコピー機の館内利用が可能となりました。さらに、各学科から選出された図書委員の先生方と連携して、学生会図書委員の活性化を図る取組みも進みつつあります。

これまでのところ、電子ジャーナルの充実や休日開館の要望など、広範な利用者の欲求を完全に満たしている状況とは言えないのですが、今後ともスタッフ一同協力して利用者の視点に立ったサービスを提供しながら、時代に即して進化する図書館であり続けることが重要だと私は考えます。次世代を担う気概のある多様な人材を郷里沖縄から一人でも多く輩出できるよう努力していく所存でございますので、本校への末永きご支援と図書館への積極的なご助言をよろしくお願い申し上げます。

なお、現在、図書館では、古謝、北上、津波古の3名のスタッフが種々業務を担当しております。お気軽に館内へ足を運んでいただき、ご意見、ご要望などがございましたら声をかけていただければ幸いです。

(<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/toshokan.html>)



学生相談室長あいさつ

学生相談室長 小池 寿俊

沖縄高専の開校と同時に開室した学生相談室も4年目を迎えました。相談室長1年目の昨年は相談件数も増え、私にとってはあっという間の1年間でした。普段は元気そうに見える学生たちが相談室を訪れるのを目にし、潜在的にはより多くの学生達が悩みや不安を抱え、しんどい思いをしているであろうことを知りました。

今年度学生相談室では、臨床心理士の資格をもつ非常勤のカウンセラーを二人（男女1名ずつ）に、回数もそれぞれ週1回3時間と増やしました。昨年度同様、教員の学生相談室員や保健室・看護師も相談を受け、学生や教職員を対象とした講演会等も行っています。また、今年度は初めて、入学前に保護者の皆さんに学生相談室を紹介させていただくとともにアンケートも実施しました。入学前に保護者として学校生活にどのような不安を抱いておられるかをお答えいただいたアンケートからは、保護者の方々のさまざまな不安が伝わってきて、学生が快適に学校生活を送るよう支援する学生相談室の重要性を改めて感じました。

昨年度は、保護者の方に学生相談室へご来室いただき、我々やカウンセラーと面談していただくという事例も何件ありました。お子様に関してご心配なことがありましたら、担任だけでなく学生相談室にもお気軽にご相談ください。私の研究室の電話番号は0980-55-4236（直通）です。今後とも、学生をサポートし少しでも快適な学校生活を送れるよう支援してまいりますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



後援会会長あいさつ

沖縄工業高等専門学校後援会長 中之蘭 昭一

沖縄高専も4期生を迎え次第に本来の高専の姿に近づいてきました。

スポーツ及び文化面で学生の活躍が、報じられ日増しにたくましくなっていることを実感します。

また、1期生は、何事にも初体験のことが多い中、将来の進路を決める重要な時期になってきました。

学校関係者並びに後援会では、県内及び県外の進路指導の情報収集等を活発にし、役立つ情報を学生達に提供出来るように支援しています。

後援会では、学生に対する支援を陰ながら続けて参りましたが、規模が大きくなると様々なご意見をお持ちの方もおられるため、今後の活動もこれまで以上に支援内容及び活動報告は透明性を高めご理解いただけるように致す所存です。

最後に沖縄高専の発展及び学生の活躍を祈念し、後援会一同で見守って支援できるように、保護者全員の入会・協力をお願いいたします。

なお、後援会活動に関するお問い合わせは、沖縄高専後援会事務局（0980-50-0133）までお願いいたします。

平成19年度(後期)行事予定表

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月 後学期開始	1	木	1	土	1	火 元旦	1	金	1	土 居室点検・全体清掃 閉寮式
2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	2	日 閉寮
3	水	3	土 文化の日 高校総体(新人大会)	3	月 後学期中間試験 専門実習願書受付 (5日迄)	3	木	3	日	3	月 臨時休業(24日迄)
4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	4	火 入学確約書提出期限
5	金	5	月	5	水	5	土 閉寮	5	火	5	水 入試合格発表
6	土	6	火	6	木	6	日 閉寮式 推薦選抜(面接日)	6	水 寮生総会	6	木
7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	7	金 入学手続日 入学説明会
8	月 体育の日	8	木	8	土	8	火	8	金	8	土
9	火	9	金 高専祭準備日 高専祭代休	9	日	9	水	9	土	9	日
10	水 校舎地区防火訓練 (15:50~)	10	土 高専祭	10	月	10	木 推薦判定会議	10	日	10	月
11	木 月曜日の授業	11	日 高専祭後片付け 高専祭代休	11	火	11	金 国立高専学習到達度試験 専門実習推薦判定結果通知	11	月 建国記念の日	11	火
12	金	12	月	12	水 学生寮居室点検・清掃	12	土	12	火 月曜日の授業	12	水
13	土	13	火	13	木	13	日	13	水 予備日(1~4年生) 学生寮居室点検・清掃	13	木
14	日	14	水 学生寮居室点検・清掃	14	金	14	月 成人の日	14	木 予備日(1~4年生)	14	金 進級認定会議
15	月	15	木	15	土	15	火	15	金 予備日(1~4年生)	15	土
16	火	16	金	16	日	16	水 学生寮居室点検・清掃	16	土	16	日
17	水 学生寮居室点検・清掃	17	土	17	月 推薦願書受付 (21日迄)	17	木	17	日	17	月
18	木	18	日	18	火	18	金 推薦確約書提出期限	18	月 予備日(1~4年生)	18	火
19	金	19	月	19	水 学生会議会	19	土	19	火 後学期期末試験	19	水
20	土	20	火	20	木 寮祭	20	日	20	水	20	木 春分の日
21	日 ロボットコンテスト 九州・沖縄地区大会	21	水	21	金 閉寮式 臨時休業(25日迄)	21	月	21	木	21	金
22	月	22	木	22	土 閉寮	22	火	22	金	22	土
23	火	23	金 勤労感謝の日	23	日 天皇誕生日 専門実習選抜	23	水	23	土	23	日
24	水	24	土	24	月	24	木	24	日 学力選抜(試験)	24	月
25	木	25	日 ロボットコンテスト 全国大会	25	火	25	金	25	月 臨時休業日 学力選抜試験採点日	25	火 学年末休業(31日迄)
26	金	26	月 予備日(1~4年生)	26	水 冬季休業(1/4迄)	26	土	26	火 後学期期末試験	26	水
27	土	27	火	27	木	27	日	27	水 学生会議会 学力選抜判定会議 試験返却日(29日迄)	27	木
28	日	28	水	28	金	28	月 学力願書受付(2/1迄)	28	木 学力選抜判定結果通知	28	金
29	月	29	木	29	土	29	火	29	金	29	土
30	火	30	金	30	日	30	水			30	日
31	水 金曜日の授業			31	月	31	木			31	月
・プログラミングコンテスト (10/6~7)										・4年生研修旅行	